

視点の先の未来を見つめて a-view

【ナビュー】 Nichiha across the view

2019/2020
WINTER

VOL. 465

2019年12月24日発行

CONTENTS

02 ● NICHIBA SIDING AWARD 2019

32 ● 新商品紹介

35 ● Topics & More



NICHIBA
SIDING AWARD
第36回 2019



グランプリ・非住宅部門
とさのさと(高知県)
有限会社エスシーワークス 様
株式会社ポリディアインク 様



グランプリ・住宅部門
I 様邸(福井県)
松栄建設株式会社 様

今年で飯島直樹さんとの共同審査は3度目である。飯島さんは肩書きはインテリアデザイナーだが、大学の建築学科の教授を勤められたことから分かるように、建築についてもきわめて造詣が深い。インテリアデザインは建築の構造よりも表層に注目し、逆に建築家は表層よりも構造と空間を視るといのが通説だが、飯島さんは両者の立場を軽々と乗り越える視点を持っている。とはいえ建築の「表面」デザインを見る視点においては、建築家としての私と微妙に意見が異なる場合があることもある。毎回、審査は2人それぞれが気になる応募作品をピックアップすることからスタートし、2人の選択が重なる作品の中から入賞作品を選ぶというプロセスで進む。

今回はこの選択で両者のズレはまったく生じなかった。というのも、ここ数年の応募作品を見て感じるのには、徐々にではあるが、応募作品が総体的にレベルアップしているからである。特に今年の住宅部門のグランプリ、プラチナ賞、ゴールド賞の3作品は、サイディングの使い方だけでなく、建築作品としてもユニークなデザインになっているといつてよい。一方、非住宅部門の3作品はサイディング・デザインにおいてまったく異なる傾向を示している点に興味深い。

毎回、審査員による審査前に、ニチハの社員による人気投票が行われ、その投票数がわれわれ審査員にも分かるように表示されている。以前は、審査員の選択と投票数が大きく異なる場合が多かったが、最近は徐々に両者の選択が一致するようになった。これはこのコンペがニチハの社内教育にも若干役に立っていることの徴候かもしれない。

【審査委員長】
難波 和彦

建築家・東京大学名誉教授。
1977年(株)一級建築士事務所 難波和彦・界工作舎を設立。
グッドインテリアデザイン賞、新建築吉岡賞、住宅建築賞、JIA環境建築賞、建築学会賞業績賞など多数受賞。代表作に「箱の家」シリーズがあり、標準化・多様化・サステナビリティをコンセプトに掲げた都市型住宅のプロトタイプとしてデザイン・開発を手がける。



KAZUHIKO NAMBA

飯島 直樹

インテリアデザイナー。
1985年飯島直樹デザイン室を設立。
2004-2014年一般社団法人日本商環境デザイン協会理事長。2011年-2016年工学院大学建築学部教授。JCDデザイン賞、APIDA(香港)賞などを多数受賞。5Sニューヨーク、blupondソウル、PMOオフィスビルプロジェクト、工学院大学ラーニング commons新宿・八王子などインテリアから環境全般のデザインまで幅広く活躍。



NAOKI IIJIMA

総評

施工写真コンテストも36回目を迎えます。応募総数432作品の中から各賞が決まりました。今号ではその受賞作品を一挙にご紹介します。

スイスの建築家ピーター・ズントーの建築は、その全てがウマ目地である。スイス、ドイツでのズントー建築行脚旅行の時そのことを発見し、氏の建築の秘密を発見したような気持ちになった。建築の目地というのは、それほどまでに建築空間上に何事かを発言するのであり、興味の尽きない細部といえよう。本アワードでは、例年サイディングの目地の扱いで優れた事例を目にするが、今年の審査では、ウマ目地の興味深い作品が記憶に残った。

例えば入賞作の「山ノ内の住宅」のウマ目地。特徴的な躍動的屋根のこの住宅において、屋根を支える壁面のウマ目地は、「規範から自由」な何事かの表れを演じ、それがこの住宅の闊達な風情を作るように見える。それはピーター・ズントーの建築に感じることとつながるようにも思えた。入賞作「house N」のウマ目地もまた、グリッドレイモ目地の規範的気分とは反対の、「ゆるさ」が魅力的なデザインだった。目地に目をこらすと、そうした様々な物語が浮かび上がってくるのである。

もう一つ気になったのが表面のツヤである。金属サイディングのツヤ、梨地によるマットな表面なども、サイディングの微細な可能性のひとつと感じた。

建築の表層というテーマについて、サイディングの可能性についても触れる論考が読めるので紹介しておきたい。東京大学院教授、加藤耕一氏のテキスト「アーキテクトニックな建築論を指して 第七回 / 仕上げのテクトニクス、表層のマテリアリティ」10+1 websiteである。

消費者と生産者、 産業と土地の記憶を結びつける 中核拠点の新しいカタチ



業と食をキーワードに、人とモノと情報が集まる中核拠点を作っていくという目的から進められました。

ニチハ ポリディアインク様とコラボレーションをされたそうですが、役割分担についてお聞かせください。

川口 ポリディアインク様は、以前サニーマートの系列の仕事で一緒に一緒に進めていきました。今回のプロジェクトは、産直市場とスーパーマーケットに加え、2019年9月にオープンしたレストランやキッチンスタジオの入る商業施設の3棟から構成される大規模なものでしたので、多角的な視点を取り入れ、より多くのアイデアをクライアントに提供できるようにとご協力いただきました。両社にてコンセプトメイキング・施設全体監修を行った上で、各売場構成および内装デザインは弊社で、外装・産直市場に併設されるカフェについてはポリディアインク様という感じでコラボしています。

中住 今回一番大きかったのは、スーパーマーケットと産直市場という、本来競合する建物が広大な敷地に並んで建設されたことです。JA高知県様とサニーマート様が高知市や高知県とタッグを組んで、競合が並立するという今まで絶対あり得なかったものを実現させようとしたことにまず驚かされました。コンペでは、それぞれの施設の利用者が実は違うのだということ、競合でなく、相乗となるためにそれぞれが持っている元々のキャラクターを際立たせるこ

とが重要な点だとしてご提案したことが評価されたのではないかと思います。

ニチハ 大規模施設ということでも、独自性と一体感の両方を兼ね備えた建物であることが求められたと思うのですが、どのような設計コンセプトで進められたのですか。

川口 「とさのさと」は、農業から連想される「自然」が「つくり」あたたかさ、というキーワードから、昔の日本的なイメージで片流れの大屋根が特徴的なデザインにしました。「サニーマート」は「都会的」「清潔感」をテーマに、利便性と快適さをアピールするためソリッドで直線的な形状になっています。形状を対極的にすることで独自性を演出し、それぞれの「らしさ」を表現しました。

ニチハ それぞれのキーワードから、どのように外観デザインに落とし込まれていったのでしょうか。

中住 スーパーマーケットと産直市場を言い換える「メタファー」とは何か。お客様様が、そこはスーパーマーケット、そこは産直市場とすぐにわかってもらえることは何かを考えました。

「サニーマート」は、モダンで、見た瞬間にスーパーマーケットと分かる誰もが思い描く非常にシンプルなカタチにしました。産直市場は、移転前の「とさのさと」が切妻屋根の木造の建物でしたので、それをメタファーとしてデザインしました。深い庇やハイサイドライトなど温熱環境や採光を加味していくうちに、最終的に今の形状が決まったと言えるところです。

NICHIHA
SIDING AWARD
第36回 2019



とさのさと(高知県)
有限会社エスシーワークス 様
株式会社 ポリディアインク 様



川口 敦士様
有限会社エスシーワークス
代表取締役

2004年に有限会社エスシーワークスを設立。大阪・南堀江に事務所を構え、全国のスーパーマーケット・小売業の店舗デザイン・トータルプロデュースを行う。食品小売業界に25年以上携わってきた経験と長年培ってきた知識・情報・ノウハウで、お客様と経営者側の両方の立場から広く見渡し、デザインのみならず、「店づくり」全般をサポートしている。



中住 直義様
株式会社ポリディアインク
代表取締役
一級建築士

1968年広島県生まれ。インテリアデザイン事務所を経て、2002年よりポリディアインクを主宰。2008年JCDデザインアワード08銀賞・2011年日本建築学会近畿支部設計競技2010優秀賞・2015年度グッドデザイン賞、グッドデザイン・ベスト100・グッドデザイン特別賞など受賞歴も多数。

《審査員評》

産直市場とスーパーマーケットの複合商業施設の事例として、この施設は、木をモチーフとし徹底してやり切った爽快感がある。高知の国産材採用は維持管理から断念しようだったが、木目調のサイディングを的確に配分した結果、斬新な商業環境を出現させた。二棟の間のポケットパークなど、コミュニティへの働きかけも評価したい。

受賞者インタビュー

JA産直市場と地元スーパーマーケットが共存する新たな地域拠点を作る

プロジェクトに関わった経緯からお話しただけですか。

ニチハ 今回は、同敷地に建てられた2棟の商業施設、JA高知県様の産直市場「JAファーマーズマーケットとさのさと」(以下、とさのさと)と「サニーマートとさのさと御座店」(以下、サニーマート)がグランプリを受賞なさいましておめでとうございます。本プロ

川口 約15年前に同敷地にあったサニーマート御座店のデザインに携わったのがきっかけで、プロポーザルに参加させていただきました。今回のプロジェクトは、JA高知県様をメインに、農

JAファーマーズマーケットとさのさと
使用商品



サニーマート
使用商品



サイディングがマネジメントする
施設のライフサイクルコスト

ニチハ サイディング5柄と木目柄の軒天材をご採用いただきました。当初は外壁材に本物の木を使うこともご検討された伺いました。

中住 高知は林業も盛んなので、県産材の利用は提案に含まれていましたし、今の建築の流れでも当然のように出てくる話です。実際、高知にも県産材を使った建物はたくさんあるのですが、耐久性やメンテナンスが課題でした。耐久性を担保するにはメンテナンスが必要、でも保守の為の塗装にはお金がかかる。当初から、メンテナンスが足枷になるだろうと言われました。

川口 施設規模が大きい分、そのリスクは回避したかったので方向転換しました。様々な人工木材を検討しましたが、最終的には見た目とコストのバランスでサイディングを採用しました。昔に比べればサイディングも質感が向上しているし、褪色・腐食の心配もない。新製品が出るタイミングにも恵まれて、結果的には良かったのではないかと思います。

ニチハ 木目柄の新商品「トランディウッド」をメイン素材として選ばれた理由についてお聞かせください。

中住 いかにも本物に近い。質感が良いのにかかりますね。製品選びでは、近くで見ても遠くで見ても、写真で見ても、CGに取り込んで、全方位的に見ても自然に見えるか。そういう選び方をしています。

川口 木目の質感にはこだわりましたよ。サイディングは工業製品という特性上、木目柄ではあるものの、広い面積にリピートしていくと不自然さが表れてしまうケースがあります。「とさのさと」では建物全体に使うことから、遠くからでも鉄骨造でも木造に見えることが大前提でした。「トランディウッド」は、離れても木目に見えるので選んで良かったと思います。

ニチハ 全面張りの「とさのさと」に対し、「サニーマーケット」は木目柄とホワイト系を張り分けて、2棟の印象がまったく違うものになっていますね。

中住 デザインもありますが、「サニーマーケット」のサイディングをホワイト系にすることで光が反射し、隣り合う「とさのさと」の室内に光が入るといった効果もあります。光線は北側から入るので、一年中、安定して光が入り続け、ずっと明るい空間になります。

川口 そのためには、「とさのさと」の屋根は下げ、「サニーマーケット」は屋根を上げる必要がある。これで建物の形状は決まってきました。そういう意味でも「とさのさと」の北側を開口で開放させたことは、すごく効果的でした。

中住 商業施設のライフサイクルコストは、温熱環境の次に、メンテナンス費用

が大きなものになります。コストだけではなく、環境にも負荷をかけ続ける。サイディングを選んで良かった点は、温熱環境もそうですが、メンテナンスに対しても非常に強いので、例えば汚れが落ちやすい、掃除しなくていいといった平時の面でも、数十年単位でのライフサイクルコストの面でも非常に大きな効果を発揮します。

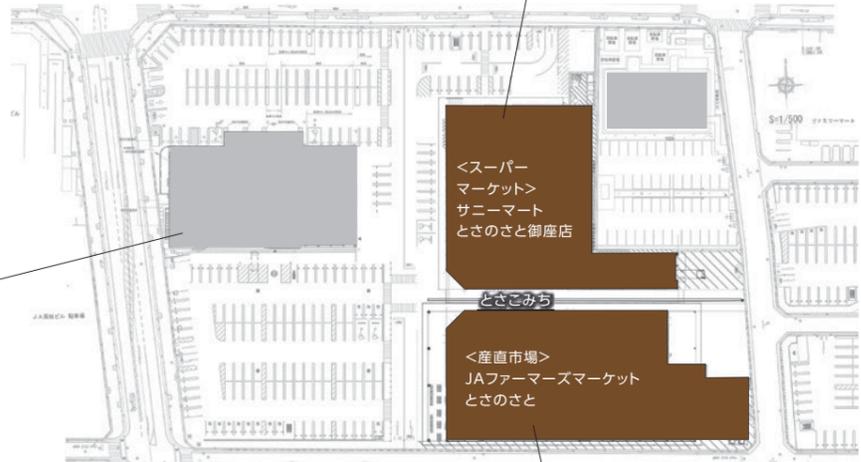
アワードの審査員をされている飯島先生たちも仰っているように、サイディングというのは新しい素材で、その分、化学的・物理的性能がしっかり担保されます。そして、これらの考えは施設のブランド価値を高めることにもつながります。



<スーパーマーケット>
サニーマーケット
とさのさと御座店



9月にオープンした飲食・物販店
アグリコレット
(設計:株式会社)



<スーパーマーケット>
サニーマーケット
とさのさと御座店

とさのさと

<産直市場>
JAファーマーズマーケット
とさのさと



県産材を使った「とさのさと」の店内ディスプレイ。田植えの時に使われた「ころばし」という道具を模した吊サインは、地元高校の書道部生徒による手書きの商品案内が光る。その他、入口には米袋で作ったタペストリーを飾るなど、「てづくり」の要素を取り入れた装飾もみどころです。



<産直市場>
JAファーマーズマーケット
とさのさと

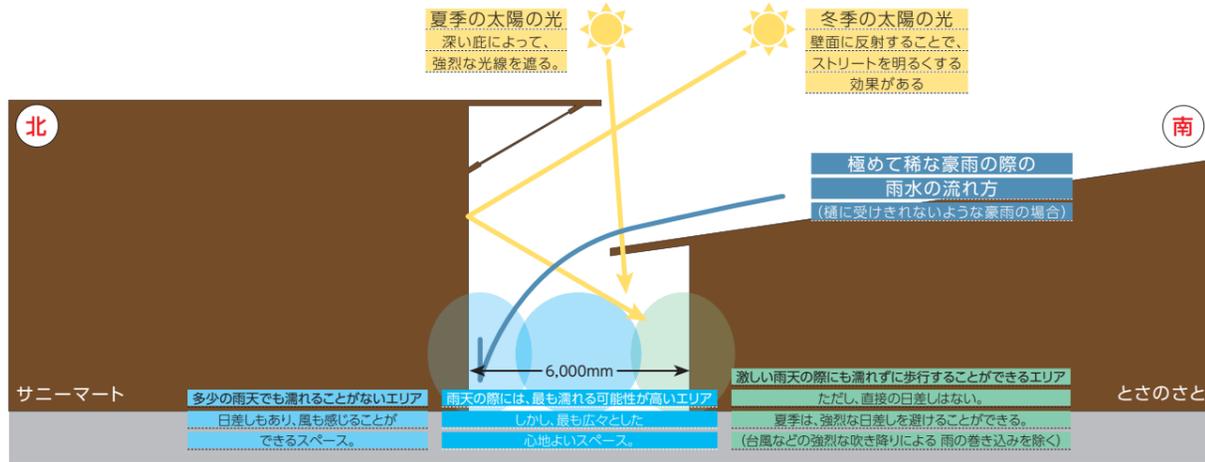


1



2

- 1 「とさのさと」と「サニーマート」の間をつなぐ「とさこみち」。「雨であったり、風であったり、光であったり、そういったものをお客様に感じて頂けるカタチにすることが、クライアントやこの土地に合っているのではないかと提案させていただきました」とは川口様
- 2 本物の農機具を展示しながら、スタイリッシュにデザインされた「78カフェ」の店内。
- 3 「とさのさと」の再開発を通して、エリアの家賃が上がったというお話を伺い、人の流れを大きく変えるランドマークとしての存在感に目を見張りました。トランディウッドをいち早く使用していただきましたが、看板商品として成長が見込める商品であることを、とさのさとで強く実感しました」
聞き手 特販第三部第二課 主任 一級建築士 糸井



風土が香り、人が集う 懐かしいコミュニケーションゾーン

ニチハ 「とさのさと」の売場では、什器に県産材を使用するなど、地域に根ざしたディスプレイの工夫をされています。つつしみますね。

川口 県産材の使用のほか、実際に使われていた農具をあえて研磨や美装をせずに壁面に飾ったり、昔使われていた農具をモチーフにサインにしています。マテリアルでの運動性、照明計画、サイン。そうしたもので、装飾的なつながりを持たせる。きれいだけど、土の匂いのする、土が響る店づくりというのはベースにありますね。

それが顕著なのが「78カフェ」というイートインカフェ。コミュニケーションをする場をつくるのであれば、納屋をテーマにしたほうが面白いということでスタートしました。農家の方々が納屋でお茶をのみながらおしゃべりをする様子をイメージしたもので、「納屋」をかけて、なやカフェです。

中住 ディスプレイに使っている農機具は、JAの職員さんの家の納屋に実際においてあったものばかり。これが欲しい、あれが欲しいって、みんなでトラックに積みこんで運んで来て飾りつけました。木製脱穀機とか、農機具としては博物館に入れた方が良くはないかと思えるものも展示しています。そ

う、買物をしてちょっと休憩をして帰るとか。いろんなシチュエーションで使っただけのものを目的としているので、楽しんで使っていたら嬉しななと思います。

ニチハ 商品と消費者をつなぐことはもちろんですが、土地と人、そして歴史をつなぐ建物でもあるんですね。ものごとがつむがれていく場所でもあると。川口 □ そうでないと、買い場だけに終わってしまう。買い場が終わるよりも、みなさんが「集う」場所にしたほうが長く続けられるのではないかなと思います。

ニチハ 最後にありますが、今後、店舗設計やデザイン提案をしていく上で、どのような意識を持つことが必要だと感じられていますか。

川口 クライアントの思いを形にするときに必要なのが「第3の目」です。クライアントと消費者、その間に入る私たちがエッセンスを加えることで、思いがより伝わるように、お客様がより買物しやすいようになると考えています。で、常にいろいろなことに目を向け、クライアントに驚きを与える提案を心がけていきたいです。

中住 技術や情報の進化で、見た目の意匠は、プロでなくても、キレイに、おしゃれにするだけなら誰にでもできてしまうので、「デザイナー」が存在する意義を今一度考えなくてはいけないと思っています。近年の傾向として、社会性があること、道徳的であることが格好い

れを、子どもたちは目の前で見て触ることもできる。しかも珈琲も飲める。実際に、農家の納屋に足を運ぶと、本当にいろいろなものが溢れている。タマネギがつつてあったり、子どもの三輪車が置いてあったり。そして、納屋の前には近所の人が集まってきて毎日の色んなことをお話しするわけです。実は、農業の機械の歴史も家族の歴史も全部含んでいるんですよ。

川口 だから、あたたかな時間が過ごせる場所になっている。年配の方には懐かしんでいただき、子どもたちには初めて見るものに興味を持ってもらう。商品はもちろん、こうした農具に触れてもらうことで、食と農をもっと身近に感じていただければ嬉しいですね。納品を終えた農家の方々は、珈琲で一休み、みなでお喋りして帰るのが日課なようです。

ニチハ 生産者と消費者をつなぐ、本当のスペースですね。おじいさんお孫さんに自慢げに話している光景が目につかびます。世代を越えたコミュニケーションが生まれますよね。

中住 カフェと博物館のハイブリットのような感じですね。子どもたちが、毎日行くところに何気なく置いてある。それが一番自然なんですよ。屋はおじいちゃんとおじいちゃん、午前中は奥様が、いと判断され、それが購買意欲につながるという動きがあります。この流れは、世界的に広がっていて、今後さらに加速する。それは商品だけでなく、材料調達の間でも大きなファクターとなる。地球環境に優しい、環境負荷の少ない素材を使う、それをディスクロージャーする、そして新しい価値に気づいてもらう。メーカーもデザイナーも、新しい価値をつくり、消費者につなぐ役割はあるのではないのでしょうか。実は、今回審査いただいた飯島先生には、以前あるデザイン賞の贈賞式で賞状をいただく際に少しお話しさせていただいたことがあります。「とさのさと」を通じて、このようなめぐりあわせの機会をいただきたJA高知県、サニーマートの皆さまに深く感謝しております。

ニチハ お忙しい中、お時間をいただきありがとうございます。



3

NICHIHA
SIDING AWARD
第36回 2019



I様邸 (福井県)
松栄建設株式会社 様



桑嶋伸悟様

松栄建設株式会社
設計部 部長

松栄建設株式会社 沿革
1948年 松村土木、建設業として創業
1973年 松栄建設株式会社 設立
1997年 プレカット工場開設
2013年 NEDO(新エネルギー・産業技術総合開発機構)との共同実験開発に着手
2016年 東京大学名誉教授「坂本雄三」先生が松栄建設(株)の顧問に就任
2017年 本社新社屋 竣工(林野庁補助事業によるCLT実証実験棟)

《審査員評》

大きく張り出したウッドデッキと米ツガの底は、ダイナミックな外観の演出装置であると同時に、遠望する海のシーンを内部に誘う舞台装置でもある。とても気持ち良さそうだ。ブラックのサイディングの上に載るライトグレーの量塊(モエン大壁工法)が浮遊感を生み、この住居のシアトリカルな魅力につながっている。

使用商品



モエンエクセラード16
Fu-ge プレミアム ルポンプレミアム 小粒ロックス仕上げ
レセビMGネロ30

劇的に日常を変える
海の眺望をデザインに内包した
高台の邸宅



日本海に沈む夕日の位置も季節によって移り変わり、時節による変化も楽しみの一つ。



眺めの良い広いウッドデッキでは、テーブルや椅子を置いて空や海を感じることができます。

受賞者インタビュー

キッカケは心を踊らせた1枚のスケッチ

ニチハ このたびはご応募くださり、ありがとうございます。グランプリ獲得、おめでとうございます。

桑嶋 まさか本当にグランプリをとれるとは思いませんでした。どうもありがとうございます。

ニチハ では早速ですが、お施主様のI様の住宅を手掛けるきっかけについて教えてくださいませんか？

桑嶋 I様は、弊社の広告業務を請け負っていたらいるWEBデザイナーなんです。弊社に入力されていますから、家を建築されるという話は聞いていました。福井では有名なWEBデザイナーなので、いろいろな住宅メーカーのお付き合いもある方です。数ある住宅会社の中からうちを選んでくださった経緯というのが、2018年5月、本社の駐車場で行ったイベントでの出来事でした。そのイベントで担当営業が僕のことをI様に紹介してくれまして、「どんなお家にしたいんですか？」と軽い雑談をしながら、サラサラとコピー用紙の裏に1枚、家のスケッチを描いたんです。すると、そんな風にサラッと描いてくれる人がいなかったと、I様はとても衝撃を受けられたようでした。その経験やスケッチが印象に残り「松栄ホームさんに決めました」と選定理由をお話しくれました。

ニチハ その1枚のスケッチがI様に

刺さったということですね。その時、どんなイメージを思い浮かべながら描かれたのですか？

桑嶋 どういった場所の土地なのかは伺っていませんでした。海が見えるという点がポイントでした。また福井というのは、雪も多いし、日本で一番雨が降る地域と言われていて、ビルトインガレージが欲しいという要望があるんですが、シャッターをつけるかつけないかという話から、2階にLDKをもつていき、LDKの下に1階に車庫を設けてはどうだろうか。海が見えるんだったら、そのLDKから海を望む、こんな建物だったら気持ちがいいんじゃないかなと思って描きました。

ニチハ プランや外観は、最初に描かれたスケッチ通りに進められたのですか？

桑嶋 そうですね。最初に描いたスケッチを元につくりあげていった感じですね。実際、購入した土地を拝見して、背景に広がる緑地が正面から見ると気持ちがいいのはとピロティにして、隣接する西側のアパートとの位置をずらして、2階のLDKから海を望めるように住宅を配置しています。そのため、敷地南側に割と広く空間を設けることになりましたが、その部分は増築など、後々フレキシブルに活用できる余白として残しています。

まるで別荘のような浮遊感のある外観デザイン

ニチハ I様は街のランドマーク的な存在となるデザイナーらしい家を望まれたそうですね。

桑嶋 そのご要望に対して、高台で海が見える立地を生かした、別荘のような雰囲気のある外観デザインをご提案しました。2階部分をオーバーハングさせて、どんと張り出した感じにしようと思ったので、ピロティ部に駐車場を配置し、道路正面からピロティを抜けた景色を見せることで浮遊感を演出しています。実は1階北東角に配置した外物収納スペースは、当初あと尺5寸内側に入っていて、浮遊感をより強調する予定でしたが、お施主様の不安材料となっていたので、位置を移動させた経緯があります。

ニチハ 外壁には、塗膜の変色・褪色30年保証に対応したFu-geプレミアムやモエン大壁工法をご採用くださいました。選定理由を教えてくださいませんか？

桑嶋 弊社はFu-geプレミアム商品標準採用していますので、自ずとそのシリーズの中から選択しました。外壁の汚れや耐候性に強い家にしたという要望もございましたので、塗膜の変色や褪色に対して30年保証対応している外壁材は、お施主様の期待通りの性能を有する外壁材です。その上、左右接合部にシーリング目地の入らないFu-geは、



- 1 塩害地域で板金部のサビを防ぐため、屋根や水切りにはハイレタンSGLを使用。軒を深くし太陽光による日差しを調節することで夏は涼しく冬は暖かい家に。
- 2 濃色の外壁、ルボンプレミアムは、塗膜の変色・褪色30年保証対応のFu-geプレミアム品です。さらなる進化を遂げた超高耐候塗料、プラチナコート30により、長期間にわたって美しい外観を維持します。
- 3 リビングで寛いでいる時も、キッチンで料理をしている時も常に海を感じることができます。



シーリング目地箇所が少なく済むことによる目地汚れも軽減することができます。

ニチハ 上下の張り分けが絶妙なカラーバランスですし、ソリッドでシャープな印象の中にも軒天に木目を取り入れ、温かさを感じられますね。

桑嶋 1階部分にルボンプレミアムのレセピMGネロ30を使用し、2階上部には柄のないマットな質感にしたため、ジョリパットで仕上げるモエン大壁工法の小粒ロックSでフラット感のある仕上がりとなりました。1階の外壁を濃色、2階を明るめのグレーとしたことで浮遊感も演出しています。実は当初、2階を真っ白で進めていたのですが、やはり汚れの問題や長く使っていきたいとい

うことで、グレーに落ち着きました。日の光に当てながら、何パターンも組み合わせ、上下のバランスにはこだわりました。また、2階の天井と軒天にあっさりした木目の模様が美しい米ツガの羽目板を使用しています。外部と内部の天井に同じ材料を使うことにより、部屋の広がりも演出しています。軒の出が一間(1820mm)あり、一見すると構造がないように見えますが、細く見せる構造組としています。これも建物上部を軽やかに見せる工夫の一つであり、建物細部のデザイン、納まりに気を配ることで、その二つの積み重ねが建物をより美しく形づくると思っています。

家庭用エアコン1台で 家中を冷暖房する「マツハシステム」

ニチハ 住み心地という点では、I様はどのように感じていらっしゃるか様子ですか？

桑嶋 今朝のお電話では、家に入った瞬間から涼しいし、快適ですとおっしゃっておられました。というのも、弊社では、小さな空調室に設置した家庭用エアコン1台だけで家中を冷暖房する「マツハシステム」を標準採用しています。ですので、これだけ大きな窓を設けていても高気密高断熱住宅のメリットを最大限活かす全館空調により、家中どこでも、冬は暖かく、夏は涼しく快適に過ごすごうができます。このシステムは温度管理だけでなく、同時に換気、PM2.5や花粉を除去する空気浄化など、デザイナーが最も効率の良い空気の流れを考え、空気をデザインするので、快適な空気環境を省エネで実現できています。

ニチハ マツハシステムは、寒冷地域以外でも魅力的ですね。御社は特に断熱性能にもこだわっていらっしゃいますよね。

桑嶋 省エネ基準地域区分、5地域の福井^{※1}は、断熱性能推奨水準である外皮性能グレードG2で、UA値0.34（外皮平均熱貫流率）ですので、弊社は現在G2の水準値を超える外皮性能で設計しています。そして今後は更に、新たな外皮性能G3^{※2}、UA値0.23（5地域）を

目標に取り組み、北陸でUA値No.1を謳うことを目指しています。UA値0.23は、北海道の1地域G2、UA値0.28よりも厳しい数値ですから、その目標は高いですが、外皮性能の強化は会社の大きな方針でもあります。この度G3を提示したHEAT20（2020年を見据えた住宅の高断熱化技術開発委員会）の委員長をされている東京大学名誉教授の坂本雄三氏は、2016年より弊社の顧問に就任されています。

ニチハ その道の権威ある方に助言いただける環境にあるというのは、とても心強いですね。外皮性能と外観デザインの両立についてはどのように考えていらっしゃいますか？

桑嶋 相反する部分も出てくるかもしれませんが、折り合いをつけることを設計やデザインに求められるのであれば、開口部の内側にもう一枚サッシを取り付けるなど、その制約の中で工夫を見つけて出すことが必要な場合もあるかもしれま



せん。一方で、両立と考えるのではなく、外観デザイン重視の方への住宅、超省エネを求めている方への住宅というように、それぞれ求める方々のニーズに合わせた住宅のつくり方のバリエーションが拡充していると捉えることもできるのではないのでしょうか。

家の空気をデザインする 「マツハシステム」とは...

小さな空調室に設置した家庭用エアコン1台だけで家中を冷暖房するシステム。空調室から、PM2.5を除去した新鮮で快適な温度の空気を、家中に循環させています。居室はもちろん玄関・廊下・脱衣所・浴室・トイレまで、家中が適温で温度差がないので、ヒートショックや熱中症の心配がありません。



ワクワクする設計プランは光る。

ニチハ 桑嶋様の設計ポリシーを教えてくださいいただけますか？

桑嶋 住宅会社は、常に大手ハウスメーカーも含め他社と競合しますから、最初に関取りを描く際には、そのお施主様が一番こだわりたいと思っている空間をどう使うか、そこを一番大事にしています。それはキッチン周りかもしれないし、庭の使い方もかもしれない。そうして描く間

取りは光るんですね。どこの会社と競合しても、その描かれた間取りや外観が頭に残るので、「うわあすごいいい」「使いやすいそう」「こんなところに住んでみたい」という気持ちにのせて、夢が膨らみますよね。もちろん、デザインや導線、間取りの使い勝手がいいことは大前提の上で、コンセプトというか、光るものを1つ作る。I様邸では「海が見える」とお聞きして、LDKから海が見えるプランから外観デザインを組み立てました。そのお施主様の要望の中でも一番のこだわりを汲み取り具現化する。あとはピラスがパンパンとはまっていくように、必然的に住空間は形づくられていきます。

ニチハ なるほど。お施主様の想像力に働きかけることになりそうですから、ワクワクさせるというのは、大きなメリットですね。HPで拝見する松栄ホーム様の住宅は、特に外観デザインにおいて、自由で魅力的な印象を受けましたが。

桑嶋 実は、昨年弊社に入社する前、デザインに富んだアトリエ系の設計事務所にいた影響があるかもしれません。当初、僕が描く外観デザインに、社内で驚かれることもありましたが、今ではそれが当たり前に受け入れられています。弊社は今、住宅性能に加えて、設計プラン、外観デザイン面の強化を図っていますし、WEB広告会社のプロフェッショナルも仲間に加わり、HPや広告の作成も社

内で行っています。

ニチハ お客様の層にも変化が訪れそうですね。

桑嶋 住宅性能に加えて、設計力やデザイン力も魅力ある住宅会社であることを、福井の方々に発信していきたいと思っていますし、住宅づくりを通じて、今後もさらに実績を積み重ねていきたいですね。

ニチハ 本日は本当にありがとうございました。



- ※1 福井県の省エネ基準地域区分は、地域によって4～6の区域に分かれています。
- ※2 外皮性能グレードG3では、冬期間非暖房室も含めて住宅内の最低体感温度を概ね15℃を下回らない水準に保ち、冬期間の暖房負荷を省エネ基準レベルの住宅と比較して、約50～75%削減する水準を設定しています。

1 ピロティ横に設けたWEBデザイナーご主人の仕事部屋からは、庭で遊ぶ子どもたちの姿はもちろん、海も眺めることができます。

2 「北陸地域では初めてのグランプリ受賞ですので、本当に素晴らしいことだと思います。寒冷地域特有の気候に配慮した高気密高断熱の住宅建築に邁進されているのは以前から知っていましたが、住宅外観にも注力されているのと同じ、今後もますます家づくりのお手伝いができるように営業活動していきたいと思っております」
聞き手(中) 金沢営業所 所長 阿藤(右) 金沢営業所 梶本





撮影:中桐暢良

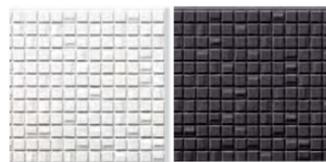
つかしん天然温泉「湯の華廊」増築工事 (兵庫県)

株式会社INA新建築研究所 様

《審査員評》

サイディング使用の際、注意を払うのは継ぎ目であろう。面材としてのサイディング故のことであって、ニチハサイディングアワードには様々な継ぎ目の配慮が登場する。この物件は温浴施設のリラクゼーションスペースの増築であるが、縦張りの選択そして横目地の部位で白と黒を分けるなど、基本的かつ周到な工夫がなされている。

使用商品



モエンエクセラード16 コシユカ プレミアム リベルMGクリアホワイト30
モエンエクセラード16 コシユカ プレミアム リベルMGチャコール30



モエンエクセラード16 キャスティングウッド プレミアム カーボンブラックMG30
モエンエクセラード16 キャスティングウッド プレミアム ホワイトアッシュMG30



ブルーノ・シティ日進市米野木台 (愛知県)

株式会社アイダ設計+エムアールスタジオ株式会社 様

《審査員評》

建築物は結果的に街並みを作る。街並みに配慮もする。しかし建物に比べ外構が重視されることは少ないだろう。建物の機能性やコストが優先になるからだ。しかしこの分譲住宅は正面から外構に挑み、シンプルな配色のサイディング採用により、ヒューマンスケールや品格、さらには資産価値をも投じている。

使用商品



モエンエクセラード16 ボルブストーン調 エアールMGチャコール
モエンエクセラード16 ボルブストーン調 エアールMGマロン
モエンエクセラード16 コルモストーン調 フォンドMGダークブラウン



モエンエクセラード16 コルモストーン調 フォンドMGブラウン
モエンエクセラード16 フィーノ調 リベルMGクリアホワイト



株式会社アイテック本社屋 (群馬県)

株式会社石井設計 様

《審査員評》

企業の本社施設。開かれた企業イメージがファサード表現となっている。上階でのイメージ訴求は多く見かける事例である。一方、エントランスにはコーポレートカラーのブルーが投入され(ミライア・ロイヤルブルー)、鏡面仕上げと四方合いじゃくり加工の効果を発揮している。表現の可能性として金属サイディングに期待したい。

使用商品



COOL ミライア ロイヤルブルー	モエンエクセード16 フラットウォール アグリアMGベージュ	モエンエクセード16 フラットウォール プリミアMGホワイト
-------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------



撮影:矢野紀行

E-2 (東京都)

中佐昭夫/ナフ・アーキテクト&デザイン 様

《審査員評》

既存住宅(右)の横に増築する共同住宅(左)の計画。古い町並みに好影響を与えようと配慮する「気遣い」の建築である。草木の入り込む路地や屋上庭園。隣り合う青い屋根。街並みに溶け入るようにと、外壁には街の住宅群と馴染むサイディングを使っている。戦略的なサイディング。そうしたドライな思考を興味深く感じた。

使用商品



モエンエクセード16
フラットウォール
アグリアMGピュアホワイト



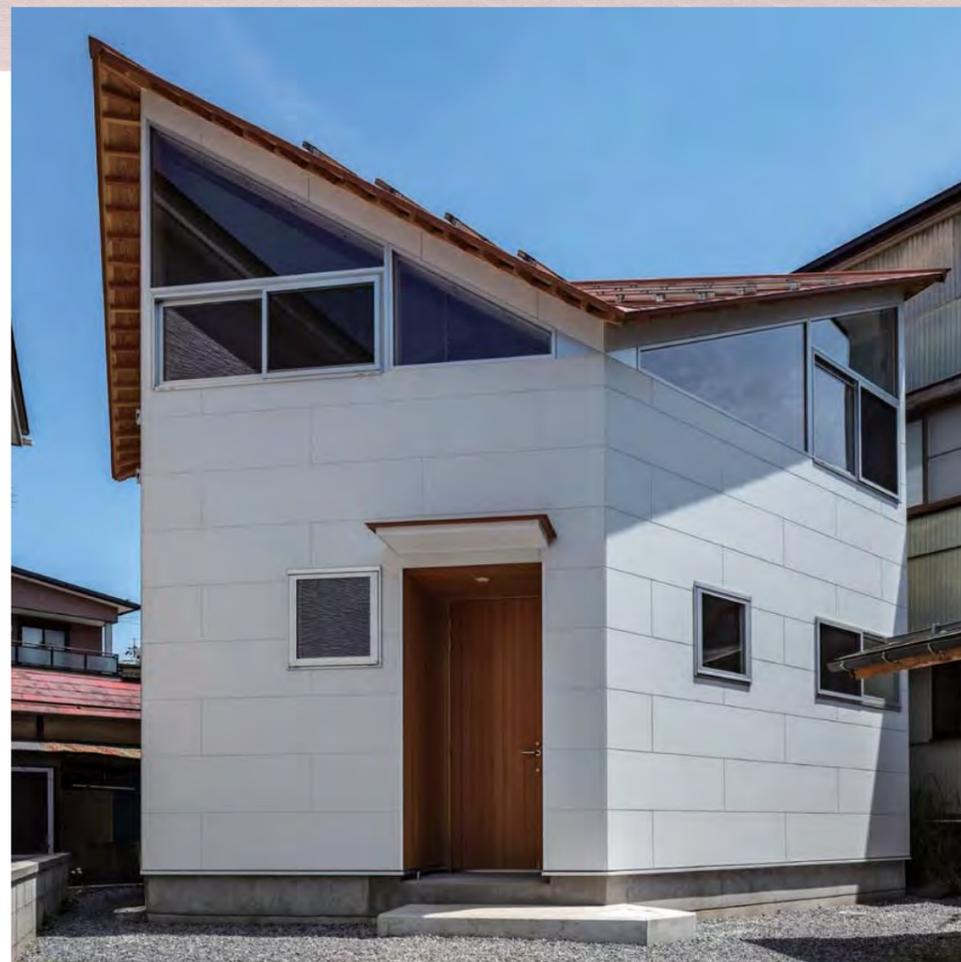
zubenelgenubi (千葉県)
ポースターデザイン一級建築士事務所 様

《審査員評》

センターコートで閉じた箱型建物は、街に面を対峙させてしまう。それが大きな面であるほど無味乾燥なモノになってしまうことが多い。この住宅はそうした大きな面を集積する線の図像に置き換え、圧迫感のない軽妙感を得ている。それは内装にまで徹底して流れており、サイディングの場面拡充のヒントとして評価したい。

使用商品

- センターサイディング CS型 センタースパンU ブラック
- センターサイディング CS型 センタースパンU ジェニューインホワイト



山ノ内の住宅 (長野県)
株式会社蟻川建築設計事務所 様

《審査員評》

目地は建築に付きもので、そこに強く着目した優れた住宅だ。ウマ目地の選択がいい。それが表現する畏まらない表情が魅力的だ。イルミオの特性を生かした深目地と相まって、些細だが大きな意匠の効果である。明るい開放的なインテリアが外部のリズミカルなウマ目地と呼応するのも好ましい。

使用商品

- COOL イルミオ イルミオホワイト

撮影:浅川敏



名古屋市北区川中町 (愛知県)
株式会社三栄建築設計 様

《審査員評》

モノリシックな表情が魅力の住宅。メモリアのブラックを基調に、ダークグリーンのカスティングウッド、チャコールのルスコムール調など、微細な差異の配色が「佇まい」を生み出している。えぐり取られたようなバルコニーが、平板になりがちなファサードに陰影を与え、ダークな配色の魅力をさらに押し出している。

使用商品

- COOL メモリア ブラック
 - モエンエクセラード16 カスティングウッド ノースグリーンMG
 - モエンサイディング-M14 ルスコムール調 パーセMGチャコール
- ※地域限定品です。



S-HOUSE (東京都)
株式会社アイダ設計+エムアールスタジオ株式会社 様

《審査員評》

コンパクトな住宅にも関わらず、大きさを感じる建築デザインである。外構を一体化したデザイン手法がそうした効果を生んでいるのだが、そこには細部へのかなり周到な配慮がある。陰影が深いアコルドプレミアムの採用も、目地の綿密な追求と現場での詳細な納まり調整があってこそ。細部が支えている建築デザインである。

使用商品

- COOL ミライア ピアノブラック
- モエンエクセラード18 Fu-ge アコルド プレミアム オーレルMGネイビー30
- モエンエクセラード18 Fu-ge アコルド プレミアム オーレルMGホワイト30
- モエンエクセラード16 フィーノ調 リベルMGクリアホワイト





坂本の家 (福岡県)
株式会社西村建築設計 様

《審査員評》
オフィスとの併用住宅で、その機能区分をそのまま直截に形に表現している。とてもシンプルな表現なのだが、周辺環境に連なる植栽に加え、外壁の色、とりわけ光沢のある黒とマットなライトグレーの配分が、独特の空気感を生じさせているように感じた。ツヤ感への配慮を評価したい。

使用商品

- COOL ミライア ライトグレー
- COOL ミライア ピアノブラック
- モエン大壁工法 ミーティア仕上げ



姫路若葉保育園 (兵庫県)
株式会社小野設計 様

《審査員評》
普通なら騒音で否定しがちな電車だが、それ(新幹線)を受容してしまった幼稚園の計画である。特に配置計画が興味深い。間接光が映えるネイビーと木目調のサイディングのマッシュなファサードをゲートのように潜り抜けると、新幹線を園児の感性装置と見立てる中庭が広がる。マイナス条件を否定しない、思い切った建築計画だ。

使用商品

- COOL メモリア ネイビー
- モエンエクセラード16 ヴィンテージウッド スキムDMGブラウン
- センチュリー耐火野地板



撮影:矢野紀行写真事務所



house-N (大分県)
YRAD 様

《審査員評》
敷地に対して丁寧に配慮され、従って外構と建物が心地よい関係を生む点を大きく評価した。形は至ってシンプルなのに、選択された外壁仕様が、この建築環境にいい空気感を生じさせていると思われる。COOLイルミオのウマ張りの、照り返しのない梨地仕上げの表面効果は、このデザインに大きな必然要素だろう。

使用商品

- COOL イルミオ イルミオライトグレー
- モエンエクセラード16 フラットウォール 無塗装品



天霧山を望むやすらぎの家 (香川県)
あす実建築設計 渡邊 様

《審査員評》
緻密に設計がなされた住宅である。ガレージをも組み込み、微細に水平を強調した外観、格子戸やポーチ柱の木のしつらい、濡れ縁につながる玄関の風格、目地を目立たせないことで洗練されるFu-geなど、それぞれが互いに呼応し和の趣を演じている。サイディングの選択も、軒裏と破風を同色系とするなど綿密な配慮がなされている。

使用商品

- モエンエクセラード16 Fu-ge スーパープレミアム プリミエMGホワイト30
- モエンエクセラード16 ムスターストーン調 ムスターMGシルバーグレイE
- モエンエクセラード16 コートリウッド プレミアム トランクMGパーチ30
- 軒天12 木目調 ティンバーベージュ
- アウティ 木目調 プノMGベージュ



佐土原の住宅 (熊本県)

一級建築士事務所 ATELIER-LOCUS 様

《審査員評》

熊本地震後の建て替え案件であり、耐震への配慮と工夫が住まいの魅力となっている住宅である。内装の天井は整然と並んだ構造材でそれが内外に貫通し、この住宅のどこか街に開かれた風情を生んでいる。マッシュなフラット感を生成するサイディングFu-geは、この木構造の天井を支援する重要な表層要素である。

使用商品

- モエンエクセラード16 Fu-ge セルレーンプレミアム エルフィンMGクリアホワイト30
- モエンエクセラード16 Fu-ge ルボンプレミアム レゼビMGネロ30
- 軒天12 木目調 ティンバーペーシェ



ライフフィルタウン51号地 モデルハウス (熊本県)

株式会社アネシス 様

《審査員評》

この住宅はモデルルームとして計画された。そのため幾分か、住宅としては強い表情のキューブを相関させるものとなっている。キューブゆえにそれぞれは純粋なマッシュであることが望まれる。白、黒、茶のサイディングが即物的な量塊として、巧みに用いられる。コンクリート基壇上のオブジェクトとする処理が効果的だ。

使用商品

- モエンエクセラード16 シャルムロック マハビMGスモーク
- モエンエクセラード16 ヴィンテージウッド スキムDMGブラウン
- モエンエクセラード16 しぶき オリアンMGホワイト



道の駅こぶちざわ (山梨県)

株式会社進藤設計事務所 様

《審査員評》

道の駅の増築計画。既存建物との調和はもちろん、公共建築物としての精度とメンテナンス性が求められたとのこと。採用したのはシーリングから脱却したドライジョイント工法によるFu-geであり、特に誰しもが課題とする出隅部の、すっきりとした見えがかりを評価したい。

使用商品

- モエンエクセラード16 Fu-ge スーパーモ ラフラMGアッシュ
- モエンエクセラード16 Fu-ge カルナウッド ミディアムブラウンMG



ファーストキャビン ニセコ・ぼんの湯 (北海道)

株式会社プランテック総合計画事務所 様

《審査員評》

コンパクトホテルの事業展開で初のリゾートホテル(ニセコ)とのこと。既存建築下地胴縁流用の外壁工事など厳しい条件下で、木目調のサイディングに徹底することによりアイコン的な施設概念を実現させた。LEDによるサイン表示など、ブランディングの観点に裏付けられた、リフォームとは思えない明快なデザインだ。

AFTER
BEFORE



使用商品

- モエンエクセラード16 コートリウッド トランクMGパーチ
- モエンエクセラード16 トリル ノーマMGチャコール

撮影:小林浩志



H様邸 (兵庫県)

株式会社リブライフ 様

《審査員評》

デザインの手法で黒のボーダーはよく使われる手法だ。この住宅はそのような「黒の使い方」のデザイン事例である。パラペットの黒い笠木、サッシ、エントランスに添いセットバックした小さな軒。そこに当てがった黒ボーダーが効果的だ。四方合いじゃくりにより継ぎ目が目立ちにくいFu-geのフラットな面があってこそ、黒の効果である。

使用商品

- モエンエクセラード16 Fu-ge エコルセ
- リベルMGクリアホワイト



K House 耐震改修・増築 (東京都)

株式会社清水構造計画 様

《審査員評》

ザッハリツヒカイト(即物的)を地でいくような、そっけない、しかし外部から内部に至るまで洗練を極めた建築デザインとして評価した。即物的なのでそれらしきデザイン要素は排除され、そっけない外壁としてフラットウォール プリミエホワイトの横張りが採用されている。インテリアもそっけなく美しい。リフォームとは思えない仕事である。

AFTER
BEFORE



使用商品

- モエンエクセラード16 フラットウォール
- プリミエMGホワイト

撮影:鳥村銅一



ブランチ岡山北長瀬 (岡山県)
商業施設



吉備信用金庫 川辺支店 (岡山県)
金融機関店舗



特別養護老人ホームほなみ (群馬県)
介護施設



ニチハ賞

ニチハ賞に選ばれた
47作品の施工例の中から
いくつかをご紹介します。

受賞者リスト

グランプリ

- 【住宅部門】
I様邸 (福井県)
松栄建設株式会社 様
- 【非住宅部門】
とさのさと (高知県)
有限会社エスシーワークス 様
株式会社 ポリディアインク 様

入賞

- 山ノ内の住宅 (長野県)
株式会社 巖川建築設計事務所 様
- S-HOUSE (東京都)
株式会社 アイダ設計 + エムアールスタジオ株式会社 様
- zubenelgenubi (千葉県)
有限会社 エスシーワークス 様
株式会社 ポリディアインク 様

公共建築賞

- 道の駅こぶちざわ (山梨県)
株式会社 進藤設計事務所 様

リフォーム賞

- ファーストキャビン ニセコ・ぼんの湯 (北海道)
株式会社 プランテック総合計画事務所 様

ニチハ賞

- H様邸 (北海道)
株式会社 ジョイフルホーム札幌支店様
- HAZAMA (群馬県)
株式会社 初谷建設様
- 館林市富士見町モデル (群馬県)
株式会社 横尾材木店様
- 藤阿久モデルハウス (群馬県)
蒼天創業株式会社様
- 特別養護老人ホームほなみ (群馬県)
株式会社 京都建築事務所様
- 浦和美園E-FOREST (埼玉県)
株式会社 中央住宅様
- B様邸 (埼玉県)
近藤建設株式会社様
- F様邸 (埼玉県)
住協建設株式会社様
- 開放的リビングと回遊動線の家 (埼玉県)
近藤建設株式会社様
- dan-lannomachi上野台23期13号棟 (埼玉県)
ケイアイスター不動産株式会社様
- 日野市南平6丁目No.1 12号棟 (東京都)
株式会社 三栄建築設計様
- 西六郷205②1・2号棟 (東京都)
株式会社 オープンハウス・ディベロップメント様
- A様邸 (千葉県)
スターツホーム株式会社様
- アーティストの住まいAtelier + HOUSE-TD (神奈川県)
株式会社 本井建築研究所
一級建築士事務所様
- M様邸 (静岡県)
第一建設株式会社様

プラチナ賞

- 【住宅部門】
ブルーノ・シティ日進市米野木台 (愛知県)
株式会社 アイダ設計 + エムアールスタジオ株式会社 様
- 【非住宅部門】
つかしん天然温泉「湯の華廊」増築工事 (兵庫県)
株式会社 INA新建築研究所 様

- 名古屋市北区川中町 (愛知県)
株式会社 三栄建築設計 様
- 姫路若葉保育園 (兵庫県)
株式会社 小野設計 様
- 天霧山を望むやすらぎの家 (香川県)
あす実建築設計 渡邊 様

プレミアム賞

- 佐土原の住宅 (熊本県)
一級建築士事務所 ATELIER-LOCUS 様

- K House 耐震改修・増築 (東京都)
株式会社 清水構造計画 様

- 名古屋市緑区徳重 (愛知県)
株式会社 三栄建築設計様
- H様邸 (愛知県)
アーレックス株式会社様
- 名古屋市東区神里1区画 (愛知県)
アーレックス株式会社様
- I様邸 (愛知県)
HOLIDAYS (HOLIDAYS Architect) 様
- Cherim八田 A棟・B棟 (愛知県)
ライフリビング株式会社様
- 愛知県森林公園案内所 (愛知県)
株式会社 早野将志建築設計事務所様
- 吉田歯科医院 (岐阜県)
株式会社 早野将志建築設計事務所様
- 大丸開発 セキスタジオ (岐阜県)
大丸開発株式会社様
- T様邸 (石川県)
積和建設北陸株式会社様
- FLEX The Be富雄川西 (奈良県)
株式会社 有輝様
- 小倉山荘 亀岡並河工場売店 (京都府)
株式会社 三本矢創設計様
- 社会福祉法人大地福祉会 宙保育園 (大阪府)
住友林業株式会社 住宅・建築事業本部木化推進部様
- 安満遺跡公園トイレ棟 (西) (大阪府)
株式会社 INA新建築研究所様
- しまだCLINIC (大阪府)
青木あすなる建設株式会社様
- H様邸 (大阪府)
株式会社 アーバンプランニング様
- K様邸 (兵庫県)
株式会社 リプライフ様

ゴールド賞

- 【住宅部門】
E-2 (東京都)
中佐昭夫/ナフ・アーキテクト&デザイン 様
- 【非住宅部門】
株式会社 アイテック本社屋 (群馬県)
株式会社 石井設計 様

- 坂本の家 (福岡県)
株式会社 西村建築設計 様
- house-N (大分県)
YRAD 様
- ライフフィルタウン51号地モデルハウス (熊本県)
株式会社 アネシス 様

Fu-ge賞

- H様邸 (兵庫県)
株式会社 リプライフ 様

- 宝塚市野上四丁目②号地 (兵庫県)
株式会社 ゼロ・コーポレーション様
- INAMI Model (兵庫県)
パル建設株式会社様
- アイフルホーム加古川店 (兵庫県)
株式会社 三宅工務店様
- 新・全館空調搭載!収納も趣味も叶う家 (兵庫県)
株式会社 ユーロプランニング様
- ブランチ岡山北長瀬 (岡山県)
大和リース株式会社 岡山支店様
- 吉備信用金庫 川辺支店 (岡山県)
株式会社 倉森建築設計事務所様
- HARA GROUP COMPANY (広島県)
関西住建株式会社様
- 広島トヨペット廿日市店 (広島県)
株式会社 感性舎様
- 焼山北E棟 (広島県)
株式会社 Sunsテック様
- 株式会社 ホクサン 松江営業所新築工事 (島根県)
株式会社 コニシ k-cube建築設計室様
- 一般財団法人四国電気保安協会
愛媛支部西条事業所 (愛媛県)
株式会社 四電技術コンサルタント様
- K様邸 (山口県)
合同会社 Lighthouse様
- I様邸 (福岡県)
株式会社 谷川建設八幡支店様
- みなみ保育園 (大分県)
株式会社 時設計 九州営業所様
- T様邸 (熊本県)
株式会社 アーデルハウス様
- Y様邸 (熊本県)
株式会社 アーデルハウス様



日野市南平6丁目NO.1 12号棟
(東京都)



藤阿久モデルハウス (群馬県)



I様邸 (愛知県)



浦和美園E-FOREST (埼玉県)



H様邸 (愛知県)



K様邸 (山口県)



しまだCLINIC (大阪府)
クリニック

厚み21mmの深彫りデザインが美しく力強い陰影を生み出し、表情豊かな外観を創り出す。

モインイクセラード21 Fuge PREMIUM

寸法：21×455×1820mm(6尺) 7,000円/枚(税抜) 8,453円/㎡(税抜)



イフーカ プレミアム



ELS721P イフーカMGホワイト30



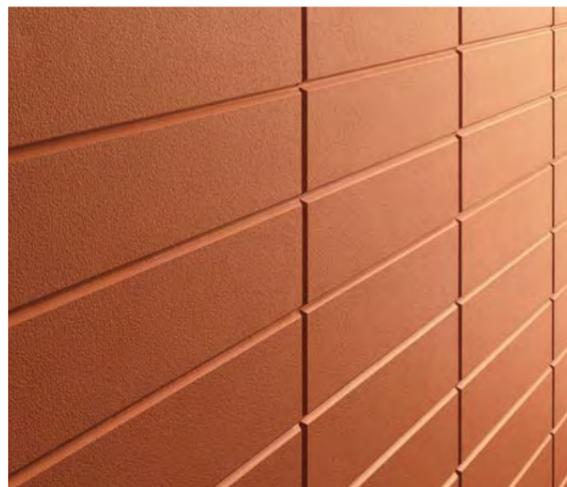
ELS722P イフーカMGアイボリー30



ELS723P イフーカMGグレー30



ELS724P イフーカMGチャコール30



ココノ プレミアム



ELS711P ココノMGホワイト30



ELS712P ココノMGキャメル30



ELS713P ココノMGオレンジ30



ELS714P ココノMGダークグレー30

NEW モインイクセラード21 Fuge PREMIUM

PREMIUM SERIES

21mm

外観の表情をさらに豊かに魅せる「プレミアムシリーズ」に、厚み21mmの進化した深彫りデザインが新登場。



《塗膜特性》
プラチナコート30 マイクロガード

《保証対象》
製品本体 Wプラチナ 30年保証
プラチナコート30 10年保証
プラチナシール 15年保証
*プラチナコート30とプラチナシールの同時使用

《特性》
準耐火 1時間
耐火 4等級
四方色いしりCD
施工 金具

《塗装タイプ》
シリコンアクリルエマルジョン塗装
色 モノカラー
イフーカ プレミアム 耐候技術 耐候技術 耐候技術
ココノ プレミアム トップクリアー



ニチハの木目調軒天が建築用鋼製下地(LGS天井下地)に施工できるようになりました。

鋼製下地条件

施工可能軒天材	軒天12 木目調 無孔板 (YL141/YL142/YL143)	建築用鋼製下地	耐風圧用下地 野縁:JIS25形 ダブル野縁(CW-25) 50×25×0.5
不燃材料認定番号	NM-3010(有孔板除く)	(推奨)留付ビス	軒天用ビス(JIS品 ステンレス) φ3.5×25mm以上 フレキ頭

※鋼製下地での準耐火構造認定は取得していません。

軒天材12 木目調 無孔板限定

軒天12 木目調

《塗装タイプ》



寸法: 12×910×3030mm 8,000円/枚(税抜) 2,901円/㎡(税抜)



YL141 ティンバーベージュ



YL142 ティンバーブラウン



YL143 ティンバーチャコール

TOPICS and MORE

窯業系サイディングで日本初の全国組織発足 労働環境改善など業界の発展を目指す

ハウジングトリビューン編集長 平澤和弘

窯業系サイディングの工事業者が集まる、日本初の全国組織「全国サイディング事業協同組合連合会」がスタートした。2019年7月に「全国サイディング組合連合会」として発足したが、このほど国土交通省から設立認可取得して法人設立登記が完了、全国サイディング事業協同組合連合会へと名称変更を行ったものである。

同連合会は、窯業系サイディングの工事業者が主体である2つの協同組合が集まったもので、延べ会員は117社となる。関東・東北エリアをカバーする東日本サイディング事業協同組合(関東支部45社、東北支部4社、賛助会員21社)と、関西・中部エリアをカバーする西日本サイディング事業協同組合(関西支部19社、中部支部13社、賛助会員15社)の上部組織として位置付けられる。

東日本と西日本の協同組合、および窯業系サイディングメーカーで構成される日本窯業外装材協会の3団体は、建設工事の業種認定として「サイディング工事業」の追加を求める活動を展開、その結果2014年に「タイル・レンガ・ブロック工事」の業種例示への追加が実現した。その折、国土交通省から全国の窯業系サイディング工事業の実態把握、意見交換の受け皿として全国組織設立の要請を受けた。それまで全国レベルで窯業系サイディング工事業をまとめる

場はなく、東日本・西日本の両協同組合が全国組織発足に向け協議を進め、今回の実現に至った。

課題の職人不足問題に対応 九州や四国の支部設立も視野

同業会が抱える喫緊の課題は職人不足への対応だ。住宅業界で職人不足が大きな課題となっているが、サイディング工事業においてもその例外ではない。同連合会の発足初年度の取り組みとして職人不足問題へ取り組む。

具体的には、労働環境の改善を通じて職人に長く働き続けてもらう、また、若年層の入植を促進するといった取り組みを進める。また、外国人技能実習制度や特定技能制度などを活用し、外国人の人材の受け入れ拡大を目指す。

「窯業系サイディングの工事現場では、高齢化した職人が過酷な環境下で、低賃金で働いている。連合会としての活動を通じて発言力を高め、業界の総意として建設業界全体と協議し、職人の待遇改善を図ってきたい」(仲本純会長)とその活動に力を入れる考えだ。

また、全国組織化により、大型物件のJ・V、大手ビルダーなどの共同受注などを進めるほか、商社機能を發揮してサイディン

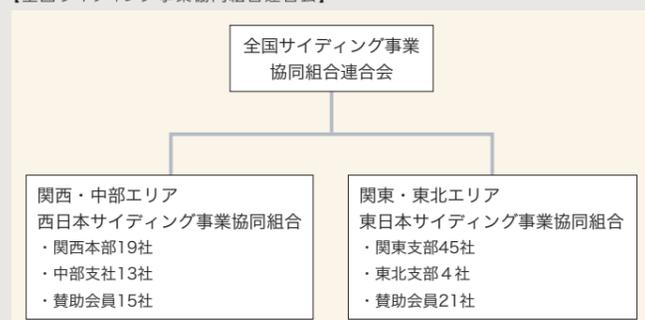
グ以外の消耗品、工具などの共同購入などにも取り組む考えだ。窯業系サイディングの公的な施工資格制度の確立、普及促進などにも取り組んでいく。

今後、九州支部や四国支部の立ち上げも計画。サイディング工事業に関する認知度向上と労働環境の改善、技術の向上のサポートなど全国組織としての取り組みを活発化し、業界の更なる発展を目指す。



都内で開催された発足式で挨拶する仲本会長

【全国サイディング事業協同組合連合会】



2019年9月時点



JAPAN WOOD DESIGN
AWARD 2019

RC造、S造への重ね張り工法
「ニチハMARCシステム」が
ウッドデザイン賞2019を受賞しました。

「都市を木質化する外壁カバー工法」

ニチハ独自の工法MARCシステムは
中高層建築物にも施工が可能となりました。
中高層建築物へモエンエクセラードを
使用いただくことで都市の木質化をすすめます。
新築・リフォーム問わず外観の意匠性を高め、
老朽化に対する安全性確保など建築ストックの
課題解決にも寄与します。

MARCシステムとは、

RC造・S造（縦張りALC厚100mm）への重ね張り工法で、金属胴縁15（ブラケット工法は鋼製胴縁）を用いた下地組みに対して専用金具で業系サイディングを施工する工法です。

ニチハ株式会社

名古屋市中区錦二丁目18番19号
三井住友銀行名古屋ビル
TEL (052) 220-5111
編集／ナビユー編集室

ホームページアドレス
<https://www.nichiha.co.jp/>

編集後記

グランプリ住宅部門、非住宅部門の2作品の取材を終え、「劇的な変化を生み出す」という点がキーワードとして印象深く残りました。非住宅部門の「とさのさと」は、競合同士がタッグを組み、地域のランドマークをつくりあげ、その空間の価値を劇的に変化させたことはもちろん、人の流れ、行動にも影響を与え、装置としての仕掛け、思惑を超えて、人が集い、人々の交流から生まれる劇的な日常のドラマが紡がれていくのだろうと感じました。一方、住宅部門の「福井の1棟邸」は、高台に建つランドマークであり、飯島先生が評するように「大きく張り出したウッドデッキが遠望する海のシーンを内部に誘う舞台装置」として、日々の暮らしの中に時節により変化する海の眺望があり、それは劇的に日常を変えるのだろうと思いました。制約はあるけれど、敷地に何百通りもの建て方がある建築。人の集いや暮らしを劇的に変えるのは、つくり手による価値の創造であり、想像力なのだ改めて感じました。皆様、2020年も良い年となりますように。(T)

